

令和元年度 学校健康委員会資料

◆体育
「姿勢」

◆給食
「好き嫌いをなく食べよう！」

◆保健
「睡眠・メディア」

～健やかな体づくり～

令和2年2月13日(水)

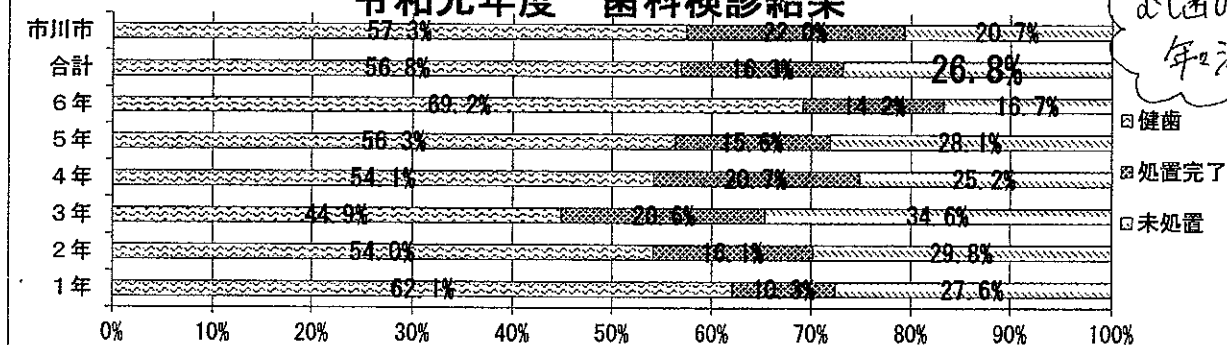
13:20～ 体育館



- 式次第
1. はじめの言葉
 2. 学校医の先生の紹介
 3. 各委員会発表(給食・体育・保健)
 4. 学校医 大野先生のお話
 5. 質疑応答
 6. 校長先生のお話
 7. 終わりの言葉

★歯科

令和元年度 歯科検診結果

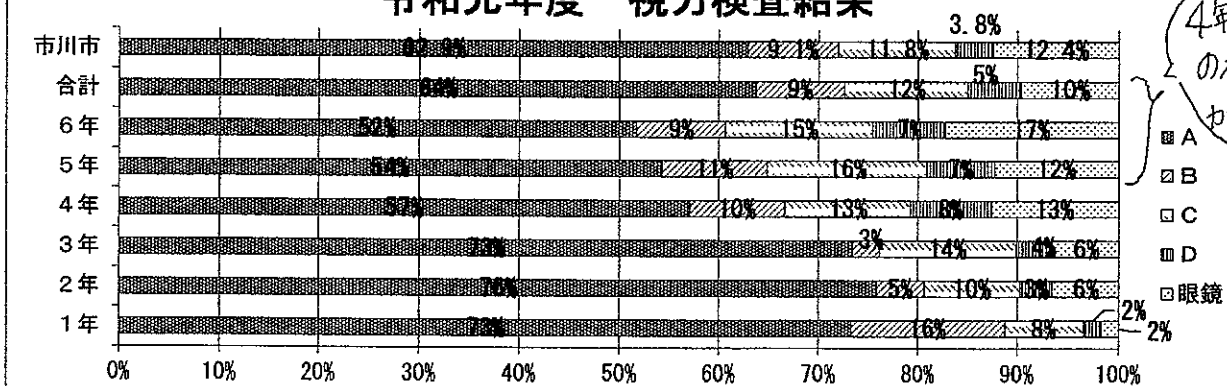


むし歯の児童は年々減っています！

* 今年度むし歯のある児童の割合が30%を切った。5年間で42%→26.8%とむし歯のある児童の割合が減少し、口腔衛生の改善が見られた。引き続き、歯科保健を継続していくこと、治療を終えていない児童への保健指導等を行い、市・千葉県の平均に近づくことを目指していきたい。

★視力

令和元年度 視力検査結果

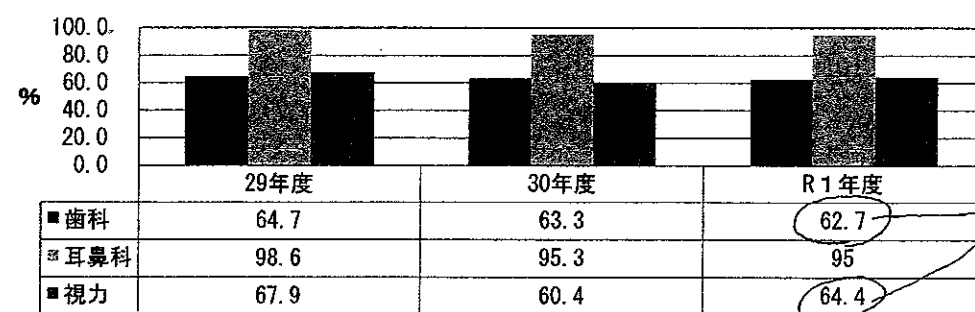


4年生くらいからAの割合が少なくなり、眼鏡着用者が増える。学校全体の結果としてみると、市川市平均とあまり変わらないが、4・5・6年生は平均よりもAが少なく、Cと眼鏡着用者の割合が多い。

また、文部科学省が今年度の視力検査結果概要を公表したところ、裸眼視力が1.0未満の割合は、小学生が34.57%で過去最多だった。要因の1つに近年のメディア使用や外遊びの減少なども考えられるので、引き続き、メディアの使用や外遊びを含めた規則正しい生活を目指していきたい。

★健康診断後 受診率

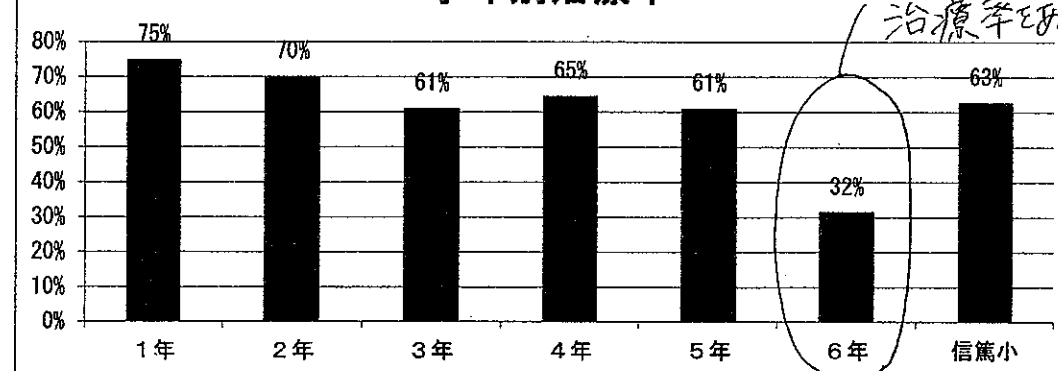
年度別受診率



2-3月で未治療者の声が必要

* 毎年、歯科・視力の治療率があまり良くない。耳鼻科は水泳が始まる前にほとんどの児童が治療を済ませるが、視力・歯科は受診の必要性を感じていないことも要因かもしれない。学校生活を元気に過ごすためにも早めの受診をしてもらいたいため、学校全体で呼びかけていきたい。

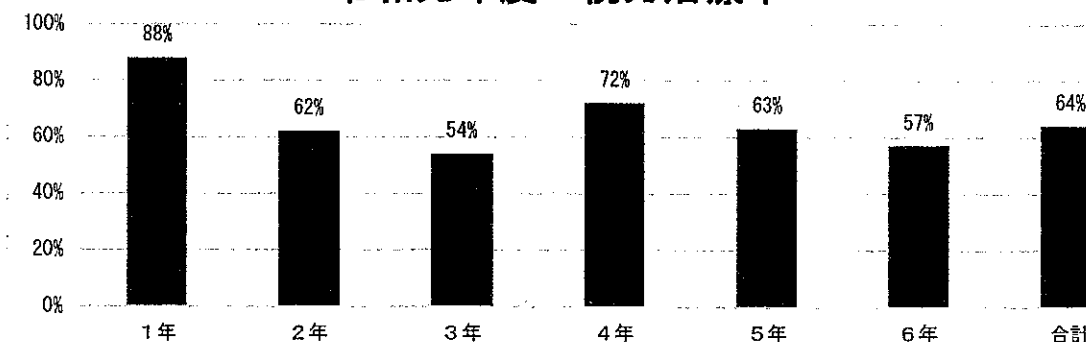
学年別治療率



永久歯になって治療率があがっている

* 毎年、高学年は永久歯が多く大切にしてほしいと思う一方、治療率が低い。特に今年度6年生のむし歯罹患率は低く(16.7%)、むし歯がない児童が多かった一方、むし歯のあった児童の治療も少なかった。保健の関心の2極化も考えられるので、むし歯の早期治療を呼び掛けていきたい。

令和元年度 視力治療率

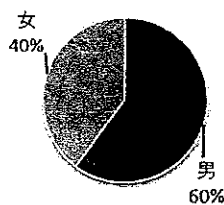


* 視力の治療率は学年によって差がある。結果が「B・B」の場合や「見えているから大丈夫」ということで治療に行かないことも考えられる。状況が悪化しないためにも早期受診を勧めていきたい。また4年生くらいから視力低下がみられる児童が増えるので、高学年の治療率を上げることは課題である。

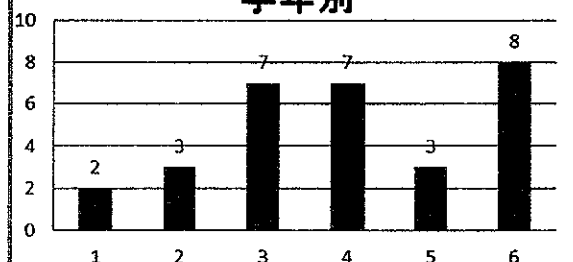
○医療を要したケガ

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	年間
29年度	3	4	5	3	3	9	5	4	2	3	2	43
30年度	4	4	3	2	0	7	10	3	6	8	2	49
30年度	3	3	4	2	0	5	6	5	2	0	0	30

男女別

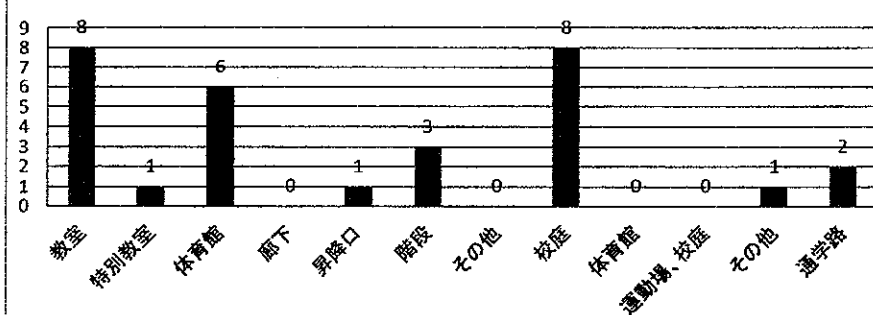


学年別

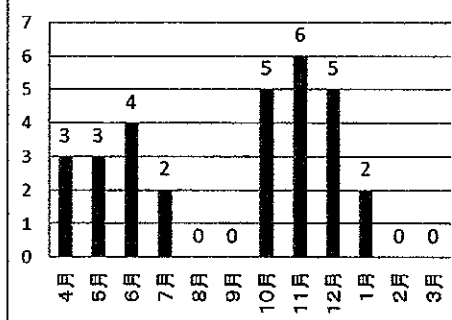


昨年度同時期と比較すると、大きなけがの件数は減っている。けがについては今年度は比較的落ち着いている。

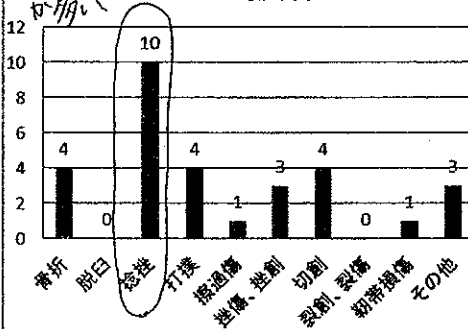
場所別



月別



けがの種類別

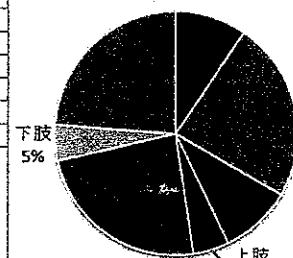


・今年度捻挫が多い
⇒階段昇降で足首を捻る、準備運動や走っているときに捻るなど

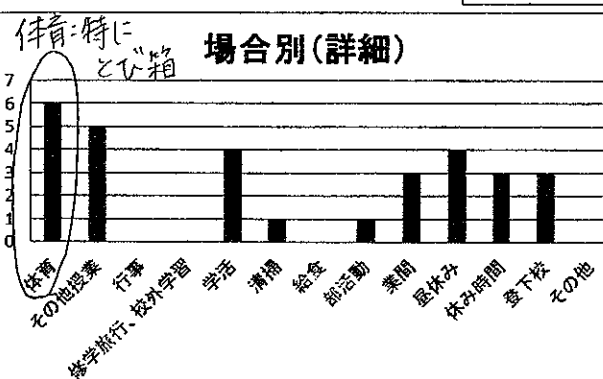
・体育の時間のけがの割合が多い。(20%)
⇒特に跳び箱で手首を痛めることが多かった。

・登下校の大きなけがは昨年より少ないが、登下校でけがをする児童は変わらず多い。
⇒特に登下校で走って登校したり、つまづいたり転倒するけがが毎年多い。またポケットハンドも気になる。転倒時に手が出ない児童が多い。

部位別



場合別(詳細)



○肥満・やせの状況

(31年4月測定)

男子	信篤小R1	信篤小H30	市川市	女子	信篤小R1	信篤小H30	市川市
高度肥満	0.0%	0.0%	0.6%	高度肥満	0.3%	0.2%	0.4%
中等度肥満	2.8%	3.2%	2.7%	中等度肥満	2.1%	2.2%	1.7%
軽度肥満	4.1%	4.3%	3.9%	軽度肥満	5.4%	5.7%	3.5%
正常	91.2%	89.0%	90.9%	正常	90.6%	89.9%	92.3%
やせ	1.9%	3.5%	1.9%	やせ	1.6%	2.0%	2.1%
高度のやせ	0.0%	0.0%	0.0%	高度のやせ	0.0%	0.0%	0.0%

★栄養状態は女子・男子ともに軽度肥満と中等度肥満が市川市平均を上回っているが、昨年度平均よりは下回った。
また、男子と女子のやせ型の割合が減り、正常の割合が増えた。

★その他

○生活習慣について

- ・ライフスタイル調査の結果 10 時過ぎに寝る児童の割合は 24.3% (昨年度 25.1%) である。
- ・テレビ・ゲームの使用時間が 3 時間以上である児童が 19.0% (17.2%)、2~3 時間が 26.1% (22.4%) 1~2 時間である児童が 28.0% (30.6%)、1 時間未満が 26.9% (29.8%) である。
- ・今年度、「信篤げんきっ子カード」を作成し、生活習慣振り返りを夏休み明けと冬休み明けに、アウトメディア週間を 10 月に行った。取り組む児童は増えたが、12 時以降に寝る児童がいたり、メディアの使用が長時間である児童がいたり、生活習慣の課題は大きい。

○感染症について

- ・12 月にインフルエンザにかかった児童は 145 人であり、学級閉鎖は 7 クラス実施した。
- 1 月に入り、大きな流行は見られないが、35 人インフルエンザに罹ったので、12 月と合計して 180 人がインフルエンザで欠席した。昨年度より短期間で一気に感染者が増えた。例年 1 月に流行しているので、保健委員会の注意喚起等取り組みを、12 月中旬に行う予定だったが、先に流行してしまった。12 月の流行の可能性も含め、年間で計画的な感染症予防をしていく必要がある。その他の感染症については、今年度大きな流行は見られていないが、来年度は東京オリンピックもあり感染症により注意が必要になるので、感染症予防を全体で行っていきたい。

信篤小 令和元年度末 保健課題

- ①経年的に見て、高学年の就寝時間が遅くなってきている事、ゲーム・テレビの使用時間が長くなってきている事が見受けられる。⇒メディアの使用や睡眠について意識の向上 **学校保健としての取り組みの実施**
- ②感染症予防について流行している時だけの実施になりがちである。⇒通年で、予防行動が当たり前になるようにすることが目標。(丁寧な手洗い、換気、ハンカチを身に着ける等)
- ③ケガについて、大きなけがまで至らないが、けがに繋がりそうな生活が見受けられる。⇒**日常行動の注意を学校全体で意識する**(廊下・登下校走っている様子、冬のポケットハンド、危険な階段昇降等)
- ④口腔衛生については減少傾向にある一方、長い間治療していない児童や、むし歯が多い児童もいる。⇒**給食後の歯みがきの定着化、対象を絞った歯科指導**
- ⑤悩みや不安を人に話せない児童が多い⇒**保健だより、掲示物での啓発、保健学習、教育相談の活用**